



無所属 加藤美幸

### これからの市営墓地のあり方は

**問** 墓地使用の現状はどのようですか。

**答** 6か所の合計は1万7,625区画。そのうち71%（12,594）が使用中。24%（4,123）が届けと異なる使用者や使用者不明で調査中。3%（570）が新規募集中で、内分は、北部47、北谷69、黒石27、乙川一色177。有脇と成岩は募集停止しています。返還され将来使用可能は2%（338）。近年は、新規申込みより返還数が上回り、将来的に不足はないと考えます。

**問** 使用者不明で管理がされない無縁墓地の原因と対策はどうですか。

**答** 「墓地区画は購入したものの」と使用者が誤認しているなど使用条件が十分周知されていないため、使用者不明などの不適正な区画が多くあります。確認調査を進めるほか申請手続きの際、本人以外に2名の連絡先を記入していただき無縁墓地の発生防止に努めています。

**問** 合葬墓は継承者不要、個別管理不要、安価などの理由から、他市でも供用が始められています。半田市に整備する考えはありますか。

**答** 現在の墓地を墓じまいし、合葬墓への改葬は有効な施策です。単身世帯や将来お墓を守る人がいない人にも安心感を与えます。平成32年度にアンケート調査を行い、市民のニーズや新しい形態の墓地の必要性を判断した上で平成33年度に墓地管理計画を策定します。

### 終活登録を問う

**問** 一人暮らしの高齢者が、もしもの時のために大事な情報を市に託す制度の必要性を伺います。

**答** 現状では登録制度は考えていませんが、終活相談は高齢介護課や包括支援センターで対応するほか、知多地域成年後見センターやNPO法人なども案内していきます。



志民ネット 小栗佳仁

### 妊娠・出産・子育てに係る継続的な子育て支援

**問** 児童虐待対策の現状と課題を伺います。

**答** 児童虐待の対応件数は、平成25年度は57件でしたが、平成29年度は101件です。課題としては、保護者の育った環境や精神状態、家庭環境などを踏まえた個別の対応と継続的な支援、職員の専門的な知識が必要な点が挙げられます。

**問** 「ネウボラ」式の子育て支援で、児童虐待予防と出生率改善ができると考えますが、いかがですか。

**答** 妊娠前から母子とその家庭を継続支援することは、子どもの健全な育成のために重要であり、精神的な支援は不可欠であると考えています。とりわけ、精神的な支援は、児童虐待の予防につながるものと考えています。今後は、より効果的な施策の推進に向け、体制の整備も視野に入れながら18歳までの子どもとその保護者を支援の対象として、引き続き継続的な支援を組織的に実施していきます。



### 小中学校の教室環境のユニバーサルデザイン

**問** ユニバーサルデザインとの現状と課題と改善について伺います。

**答** 半田小学校が研究に取組み、その研究成果を全校に向け、紹介しました。各校が教職員に対する校内研修を行いながら、継続して取組んでいるところですが、市内の小中学校では「全ての子どもがよく分かる」「安心して授業を受けることができる」ということを目指して、黒板周りや掲示物などの教室環境を整備しています。学年に応じて支援の内容を変えるなど、児童生徒の発達段階に応じた効果的な取組みが課題です。また、視力の弱い生徒にも色を識別しやすい「色覚チェック」については、赤一色のみで一部の学校で導入しています。今後、効果を検証しながら導入を進めていきます。



創造みらい半田 久世孝宏

### 半田市が何を選んで何をやるのか、みんながわかるように

**問** 事業の取捨選択は、行政評価を基本に置くべきであり、意思決定が制度の中できちんと行われ、そのことが明らかにできるようにする仕組みを構築することこそ、長期的視野に基づく半田市の発展のために必要なことであると私は考えます。その上で、3か年実施計画や、新年度予算を作るにあたり、特に新規事業や事業の廃止を決定する判断基準は何ですか。

**答** まずは各課において、総合計画や事務事業の評価のほか、社会情勢、国・県の動向、市議会からの提案などを踏まえて、課題の解決や市民ニーズへの対応に向けた新規事業の立ち上げと、廃止も含めた既存事業の見直しを検討します。その後の査定や市長裁定において、これらの要素に加え、歳入の見込みなど全体を俯瞰し、総合的に事業の採択を判断していきます。



**問** 評価と結果の反映について、常にどのような形がよいのか考え、改善していくことが必要であると考えますが、どうですか。

**答** 多様化するニーズに、対応できるように、常に改善意識を持って取り組んでいきます。

**問** 評価結果と、それに伴い対応したことを、わかりやすく公表すべきと考えますが、どうですか。

**答** 事業評価から事業実施に至るPDCAサイクルを、より見やすくわかりやすいものとして公表できるように努めていきます。

**問** それはどのように努めていくのですか。

**答** PDCAサイクルが完結されているとは言い難い部分もあり、見えていない部分、見えていない部分、何かが工夫できるように、何か工夫を考えていきたいです。2年後に始まる第7次総合計画の策定時には、半田市全体の評価システムを再度考えていきたいと思っています。